

戸別収集実験事業アンケート調査【市民】

報告書（概要版）

本市では、戸別収集による影響や効果を把握するため、市内8地区において「戸別収集実験事業」を実施しています。この冊子は、実際に戸別収集を体験している市民及び事業者を対象に実施したアンケート調査の主な結果や寄せられた率直なご意見をまとめたものです。

【調査の概要】

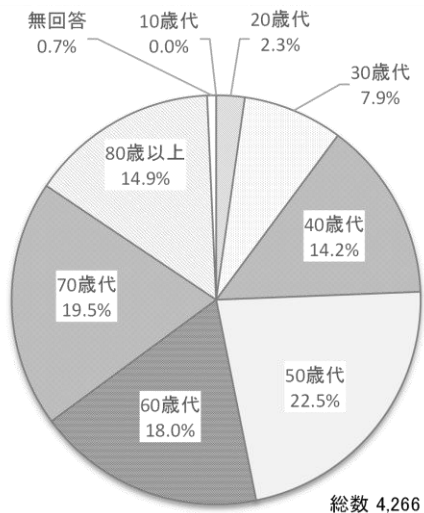
調査地域	戸別収集実験事業対象地域 (幸町、芹沢、共恵一丁目、共恵二丁目、中海岸一丁目、浜竹四丁目、東海岸北一丁目、東海岸北二丁目の計8地区)
調査対象	調査地域内に居住する全世帯(7,605世帯)及び調査地域内に事業所を構え「事業系一般廃棄物の収集運搬及び処分に関する申出書」を提出した事業者(256者) (本報告書では上記のうち、7,605世帯の市民のみの回答を取り扱います。)
抽出方法	住民基本台帳に基づく調査地域内の全世帯及び「事業系一般廃棄物の収集運搬及び処分に関する申出書」を提出した全事業者に対する全数調査
調査方法	調査票を発送し、返信用封筒による郵送回答、または、インターネットによる回答
調査期間	令和7年10月1日～10月15日
回収結果	有効回収数:市民 4,266世帯 事業者 151者 有効回答率:市民 56.1% 事業者 59.0%
調査内容	<ul style="list-style-type: none">● 回答者の属性● 「燃やせるごみ」の排出負担・排出量・排出意識の変化● 「燃やせるごみ」の排出時における鳥獣対策の実施状況とその具体的な方法● ステーションの維持管理負担の変化とその理由● 戸別収集のメリット・デメリットの認識● 戸別収集のニーズ

令和7年12月

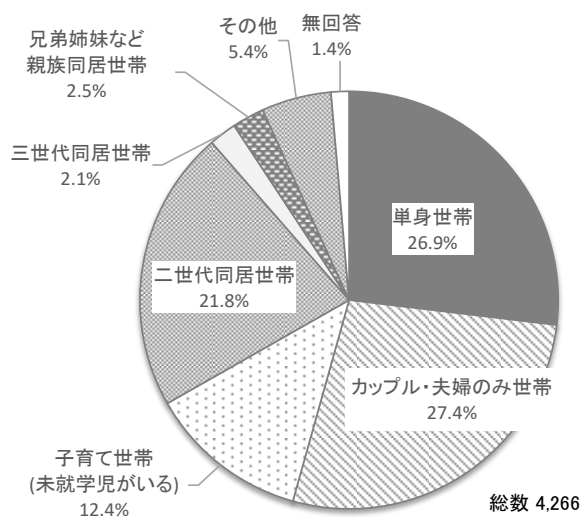
茅ヶ崎市

● 回答者の属性

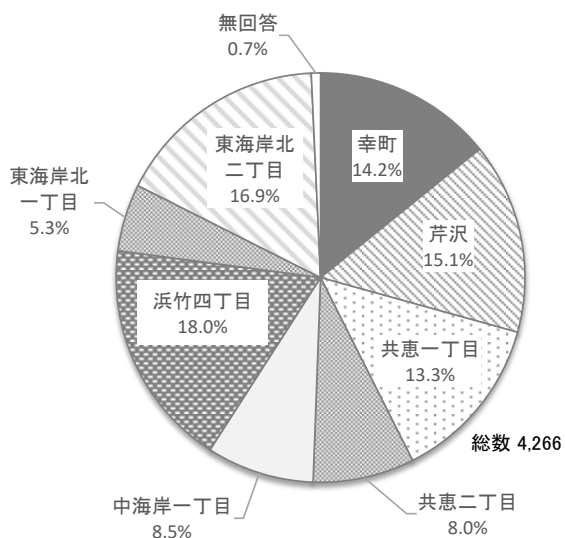
<①年齢>



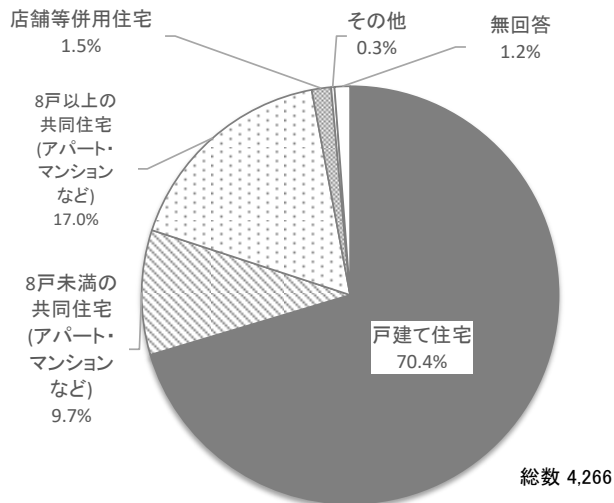
<②世帯構成>



<③居住地域>

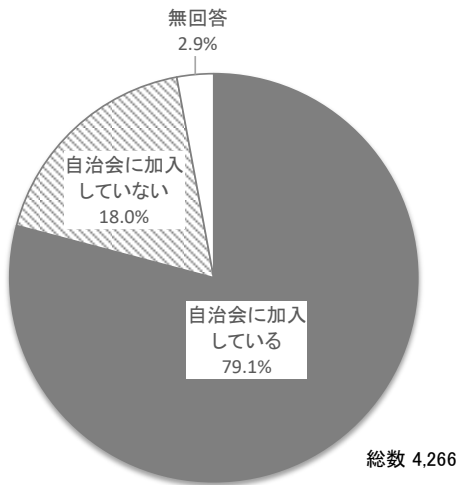


<④住居形態>

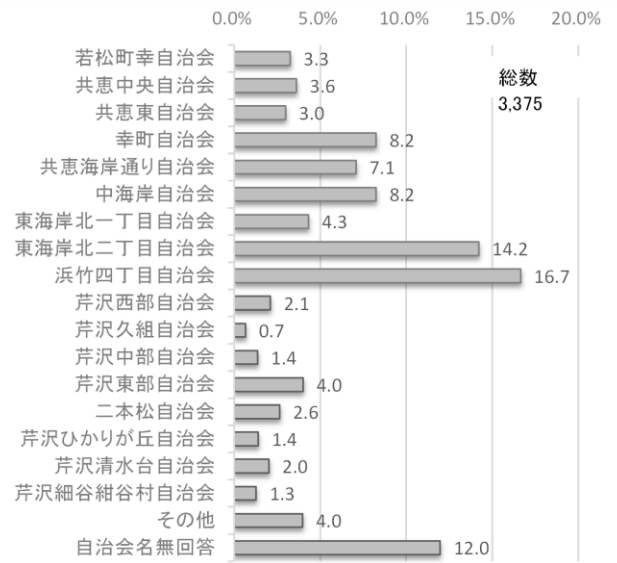


<⑤自治会加入状況>

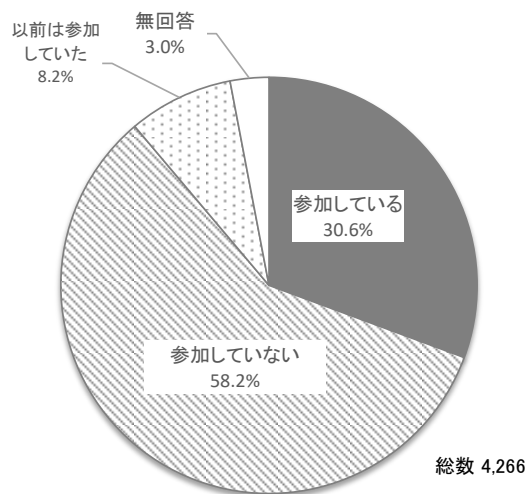
自治会加入有無



加入している自治会



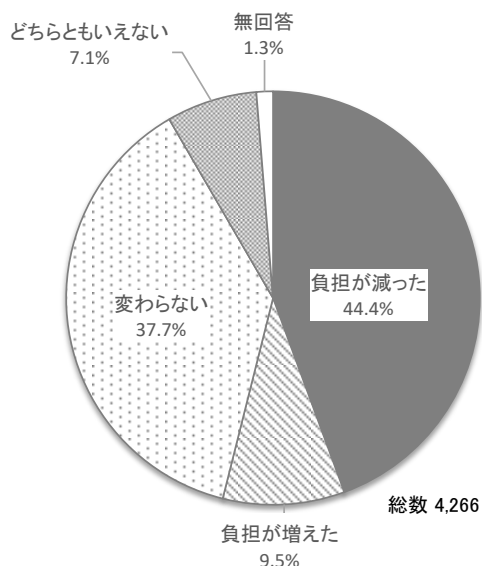
<⑥集積場所(ステーション)の清掃当番等の参加状況>



● 「燃やせるごみ」の排出負担・排出量・排出意識の変化

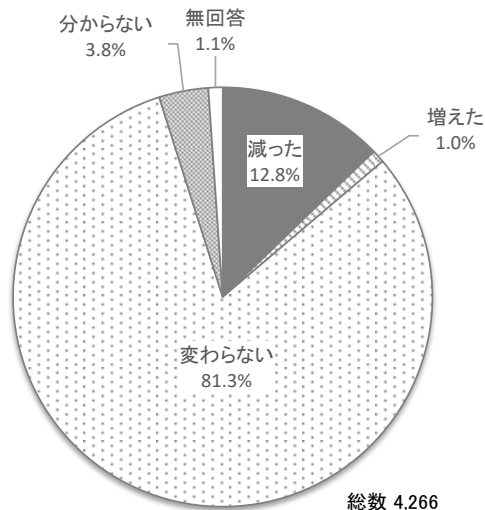
戸別収集となり、「燃やせるごみ」のごみ出し負担に変化はありますか。(問2)

「負担が減った」が44.4%、「変わらない」が37.7%でした。



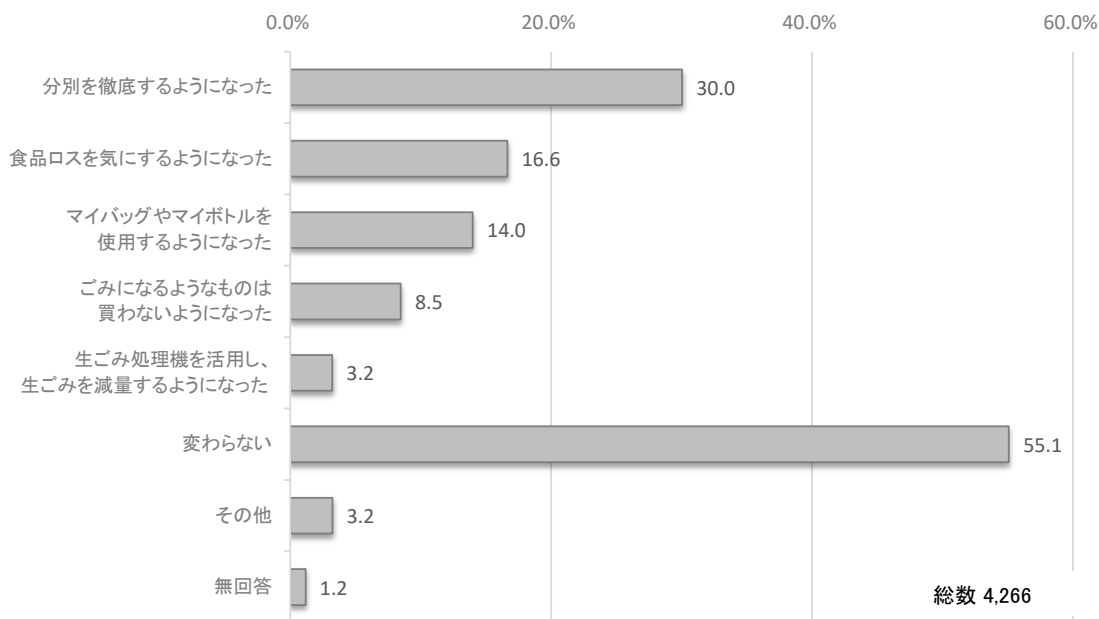
戸別収集となり、「燃やせるごみ」の出す量に変化はありますか。(問3)

「変わらない」が81.3%、「減った」が12.8%でした。



戸別収集となり、「燃やせるごみ」の分別や減量化などに関する意識にどのような変化がありますか。(問4)

「変わらない」が55.1%、「分別を徹底するようになった」が30.0%、「食品ロスを気にするようになった」が16.6%であった。



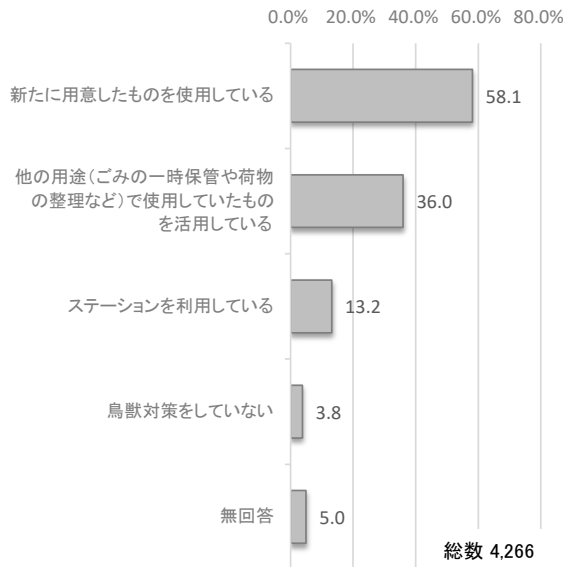
● 「燃やせるごみ」の排出時における鳥獣対策の実施状況とその具体的な方法

“燃やせるごみ”を出す際に取り組みられている鳥獣対策の方法を教えてください。(問5)

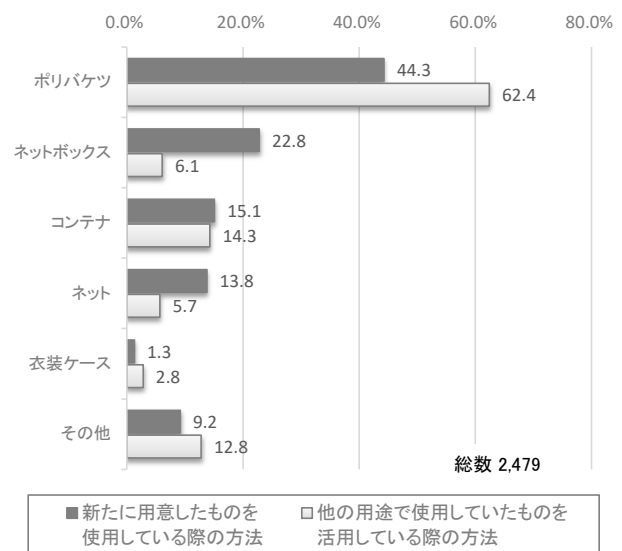
「新たに用意したものを使用している」が58.1%、「他の用途(ごみの一時保管や荷物の整理など)で使用していたものを活用している」は36.0%でした。

具体的な対策の方法は、新たに用意した方も他の用途で使用していたものを活用している方も「ポリバケツ」が最も多く、それぞれ44.3%、62.4%でした。

<鳥獣対策の有無>



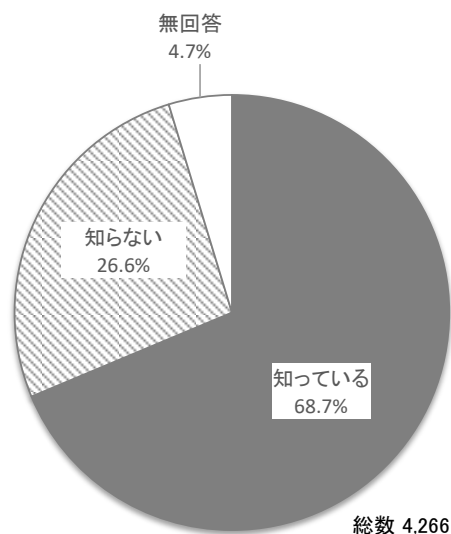
<鳥獣対策の方法>



● ステーションの維持管理負担の変化とその理由

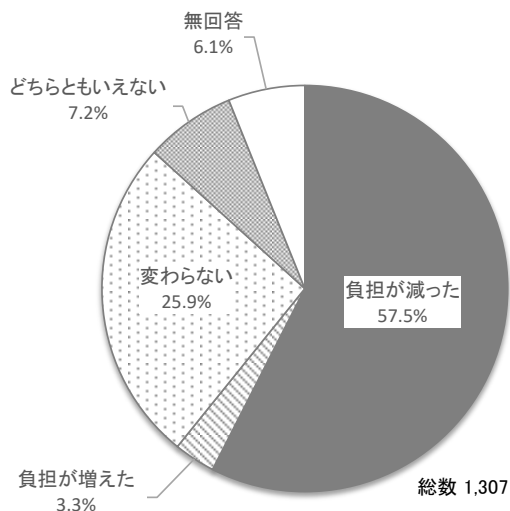
現在、市内ではステーションを起因とする諸問題が発生し、その多くが常態化している現状をご存知ですか。(問6)

「知っている」は68.7%、「知らない」は26.6%でした。



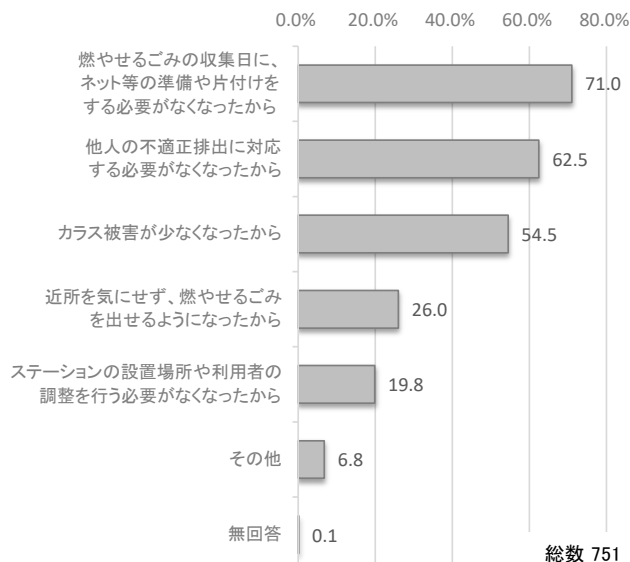
問1で「① 集積場所(ステーション)の清掃当番等に参加している」を選んだ方のみ、燃やせるごみが戸別収集となり、ステーションの維持管理負担に変化はありますか。(問7)

「負担が減った」が 57.5%、「変わらない」が 25.9%でした。



問7で「① 負担が減った」を選んだ方のみ、ステーションの維持管理負担が減った理由をお聞かせください。(問8)

「燃やせるごみの収集日に、ネット等の準備や片付けをする必要がなくなった」が 71.0%、「他人の不適切排出への対応がなくなった」が 62.5%でした。



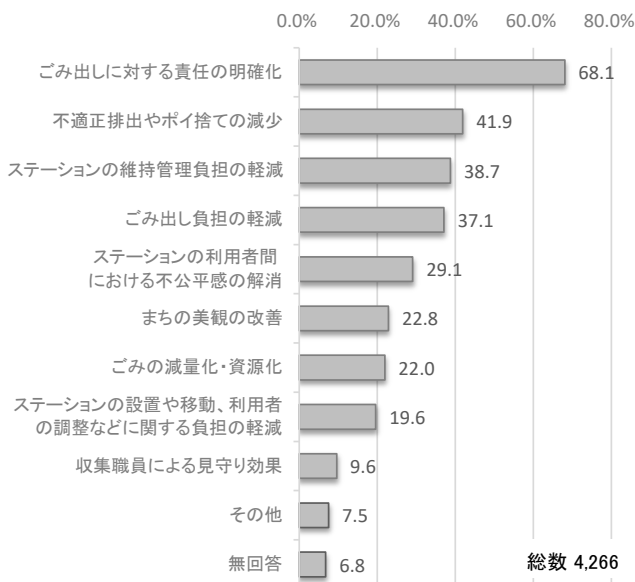
問7で「② 負担が増えた」を選んだ方のみ、ステーションの維持管理負担が増えた理由をお聞かせください。(問9)

「収集日以外に誤ってステーションにごみを出す人がいる」「燃やせるごみの掃除当番はなくなったが、プラごみの掃除当番が増えた」などがあつた。

● 戸別収集のメリット・デメリットの認識

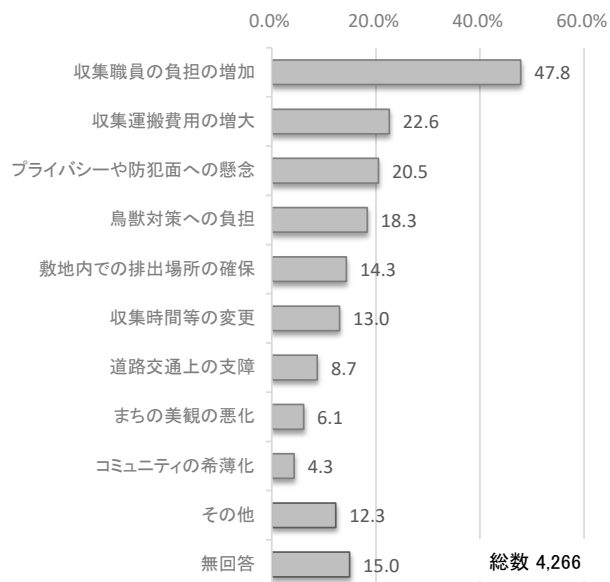
戸別収集を体験し、戸別収集のメリットであると感じているものを教えてください。(問10)

「ごみ出しに対する責任の明確化」が68.1%、「不適正排出やポイ捨ての減少」が41.9%でした。



戸別収集を体験し、戸別収集のデメリットであると感じているものを教えてください。(問11)

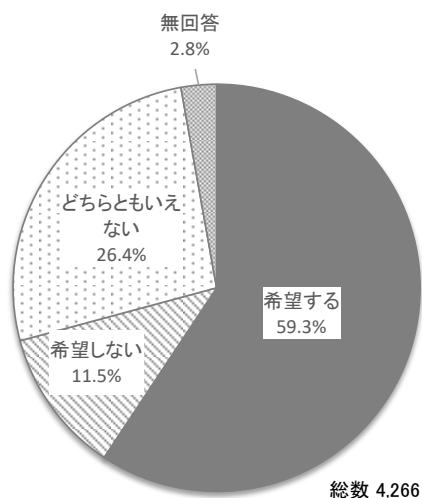
「収集職員の負担の増加」が47.8%、「収集運搬費用の増大」が22.6%でした。



● 戸別収集のニーズ

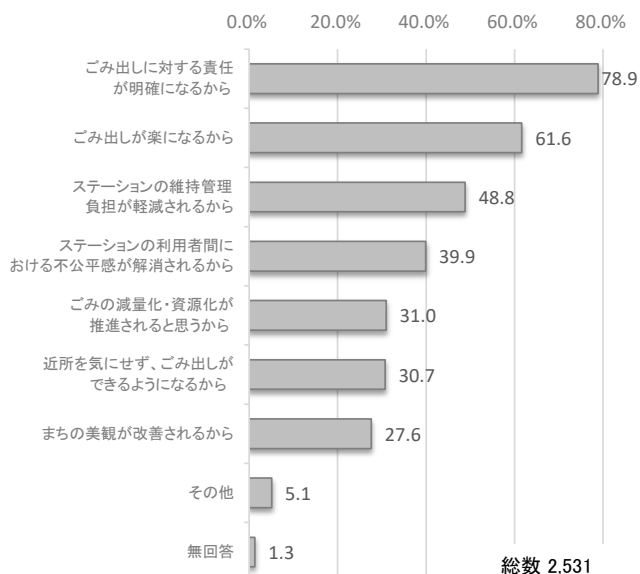
本事業の実施期間後も戸別収集の継続を希望しますか。(問12)

「希望する」が59.3%、「どちらともいえない」が26.4%でした。



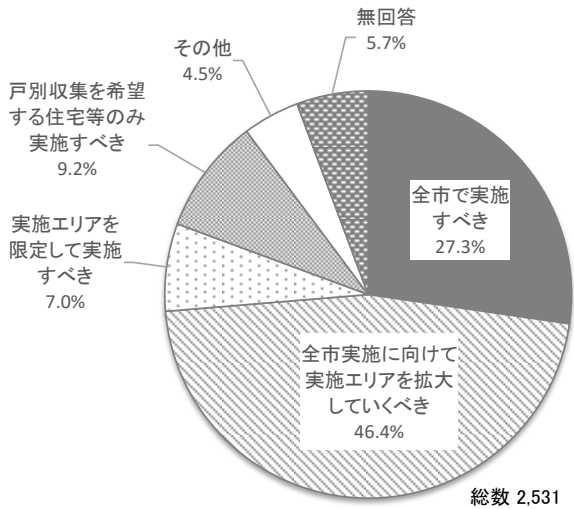
問12で「① 希望する」を選んだ方のみ、その理由をお聞かせください。(問13)

「ごみ出しに対する責任が明確になる」が78.9%、「ごみ出しが楽になる」が61.6%でした。



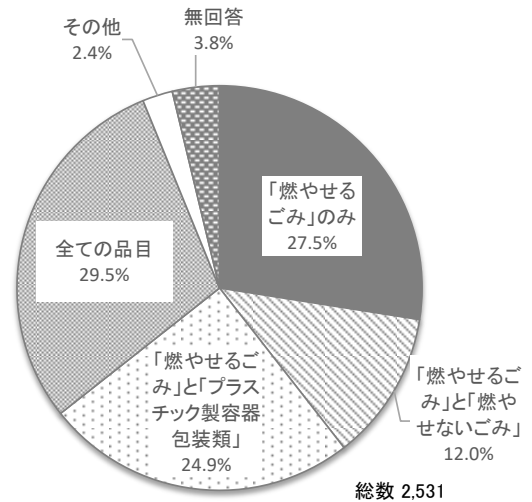
問12で「① 希望する」を選んだ方のみ、戸別収集の今後の進め方について、あなたのお考えをお聞かせください。(問14)

「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」が46.4%、「全市で実施すべき」が27.3%でした。



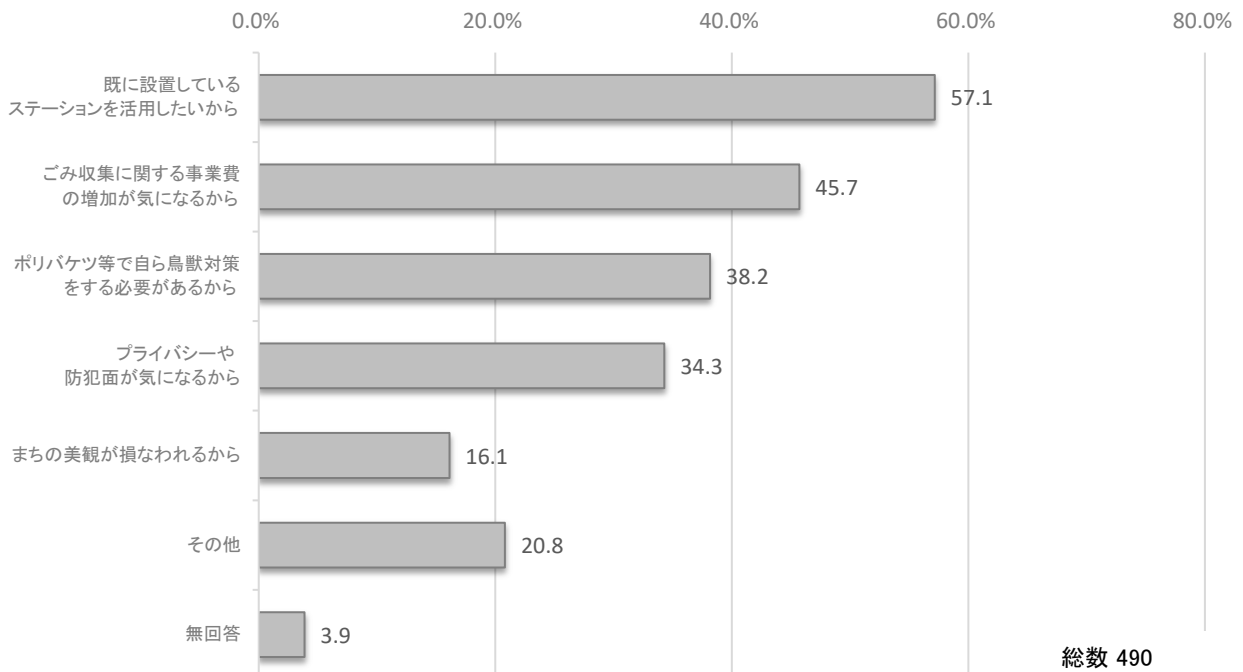
問12で「① 希望する」を選んだ方のみ、戸別収集をどの品目を対象に実施すべきか、あなたのお考えをお聞かせください。(問15)

「全ての品目」が29.5%、「燃やせるごみ」のみ」が27.5%でした。



問12で「② 希望しない」を選んだ方のみ、その理由をお聞かせください。(問16)

「既に設置しているステーションを活用したい」が57.1%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になる」が45.7%でした。



戸別収集実験事業アンケート調査【市民】 報告書（概要版）
令和7年12月 発行

【発行】茅ヶ崎市 環境部 資源循環課
〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号
TEL:0467-81-7178 FAX:0467-57-8388

